

画像：NASA ハッブル宇宙望遠鏡で撮影された木星の様子

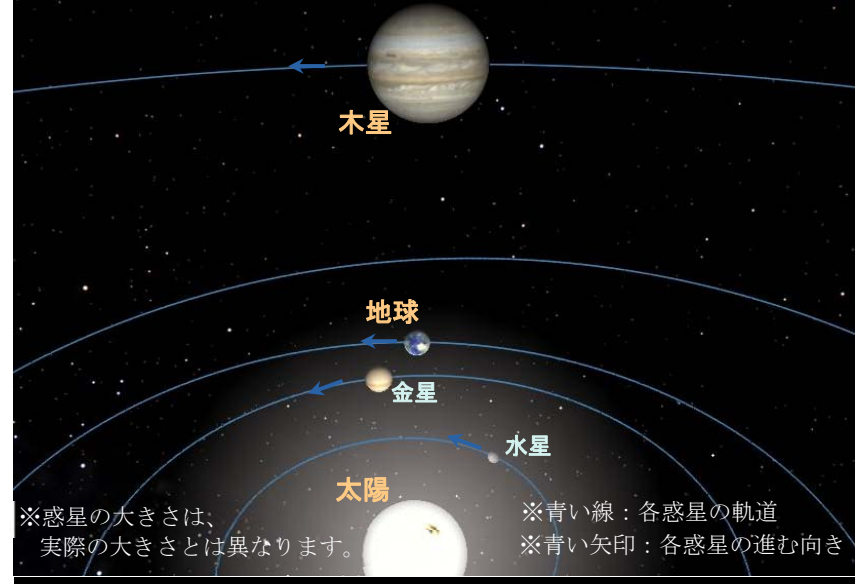
2017年3月

もくせい ぜっこう かんそく

木星が絶好の観測シーズンへ！

発行：福岡県青少年科学館

木星は太陽のまわりを約12年で1周します。地球は木星よりもずっと内側を回っています。地球が木星を追い抜く瞬間の、太陽—地球—木星が一直線に並ぶ状態は『衝』と呼ばれ、地球からは一晩中木星を観測できます。今年4月8日に木星が『衝』となり、このころ地球からの距離がもっとも近くなります。『衝』に近づいているこの3月は絶好の観測シーズン到来と言えるでしょう。望遠鏡を使って、表面模様の変化を楽しむこともできますでしょう。



画像：2017/04/08 『衝』のときの太陽—地球—木星の位置 Mitaka Ver1,3,1 で作成



木星を見つけよう！

地球から見た木星の動きは、12年かけて星々の中を1周しているように見えます。目安としては「黄道十二星座(誕生日星座)」の中を毎年1つずつ移動している」と考えるといいでしょう。去年は、しし座にありました。今年は、11月中旬まではおとめ座にあり、その後はてんびん座に入ります。木星は『夜半の明星』とも呼ばれ、黄色っぽくてとても明るく見えるので、街明かりの中でも簡単に見つけることができるでしょう。白っぽく輝くおとめ座のスピカの近くにあるので、ぜひ注目して下さい。